

フコイダン混合食品のガン抑制効果

¹⁾NPO 法人フコイダン研究所、²⁾松崎記念病院、³⁾鹿児島大・農・食品機能化学
前村基子¹⁾、立川大介^{1,2)}、中溝公次¹⁾、高尾秀樹¹⁾、侯徳興³⁾、藤井信^{1,3)}

【目的】近年、食品の健康維持効果、特にガン予防効果について社会的関心が高い。我々は海藻の硫酸化多糖類であるフコイダンの機能に注目している。そこで今回はフコイダン混合食品の持つガン抑制効果について報告する。

【方法】サルコーマ 180 ($2 \times 10^5/0.2\text{ml}$) を 5 週令 BALB/c マウスの皮下に移植し、フコイダン混合食品を 20 日間摂取させた。飼育実験終了後、皮下に形成された腫瘍を摘出し、重量を測定した。また、脾臓中の NK 細胞活性をターゲット細胞である YAC-1 を用いて、その細胞障害率より求めた。

ヒトへの臨床応用としては、癌患者に投与し、その効果を評価した。

【結果・考察】ガン移植マウスにフコイダン混合食品を摂取させたところ、腫瘍重量は対照区マウスと比較して有意に減少した。またこの時の脾臓中 NK 細胞活性は高い値を示した。即ち、NK 細胞活性の亢進によってガン細胞の増殖が抑制されたと示唆される。現在、フローサイトメトリーによる血液中の各種リンパ球数などの評価も検討中である。さらにガン患者の適用例では、ガン組織の減少および腫瘍マーカー低下などの治癒効果が認められた。